

山梨県内におけるメンタルヘルスケアの実態調査

総 括 山梨産業保健推進センター 所 長 佐藤 章夫
共同研究者 山梨産業保健推進センター 相談員 金子 誉
山梨学院大学 助教授 今井 久

1 はじめに

現在、我が国の産業界は、経済のグローバル化や情報化の促進等により、大きな転換期を迎えている。また、高齢化の急速な進行も産業構造に影響を与えている。さらに、労働者の就職意識の変化や働き方の多様化等により、仕事や職業活動に関する強い不安、悩み、ストレスを訴える人々が増加している。このような事態に対処するために、平成12年8月、厚生労働省は「事業場における労働者の心の健康づくりのための指針」（以下、「メンタルヘルス指針」という。）を公示し、事業場において事業者が行うことが望ましい、労働者の心の健康の保持増進のための基本的な措置、メンタルヘルスケアの原則的な実施方法を示した。

山梨県内の事業場においても、事業者による労働者へのメンタルヘルスケアの実施が緊急の検討課題となっている。しかし、その実態はそれほど把握されていない。

本調査では、山梨県内の事業場におけるメンタルヘルスケアをより一層充実したものにするため、県内の事業場における、メンタルヘルスケアの実施状況及び事業主の意識がメンタルヘルスケアの実施に与える影響を調査した。そして、これらの結果を踏まえ、産業保健推進センターの取り組むべき問題点を明らかにした。

2 対象と方法

アンケート調査の対象となる事業場は、山梨県内の事業場で、業種は問わず、従業員200名以上（パート、非常勤含む）とし、98の事業場を選出した。

アンケート調査の回答者は、事業場においてメンタルヘルスケアに精通している担当者（① 心の健康づくり専門スタッフ、② 人事労務管理スタッフ、③ 産業医、④ 衛生管理者、⑤ 看護師・保健師、及び、事業主とした。なお、無記名自記法とし、事業場名・担当者氏名が公表されることのないよう配慮した。

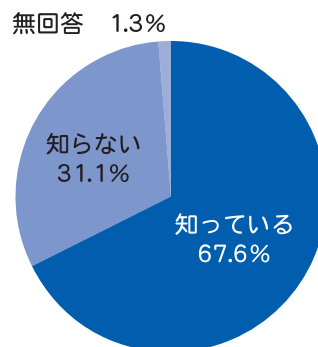
3 結果と考察

選出した98事業場のうち協力の意思表示のあった93事業場からの回収率は80%であった。

(1) メンタルヘルス指針の普及状況

平成12年8月に、厚生労働省がメンタルヘルス指針を公示してから3年余りが経過したが、今回の調査においてこの指針の内容を知っていると回答した事業場は全体の7割程度であった。換言すると、約3割の事業場が未だにこの指針の内容を知らないことであり、3年という期間を考えると、メンタルヘルスカケアがそれほど普及しているとは考えにくいのが現状である。

図1 メンタルヘルス指針



(2) メンタルヘルスカケアに関する教育研修等

教育研修・情報提供が実施されている項目は、衛生管理者の役割、人事労務管理者の役割、心の健康問題に関する心理相談であり、それ以外の項目は、行っていない割合が多かった。

山梨県内の事業場においては、メンタルヘルスカケアに関する教育研修、情報提供、支援状況があまり普及していないことが確認された。

(3) 事業場外資源との連携

事業場外資源からの支援については、75%程度の事業場が支援を受けていないとし、2割程度が山梨産業保健推進センターまたは地域産業保健センターから支援を受けていた。

したがって、事業場外資源との連携、情報提供が、普及していない状況が目立っている。

図2-1 事業場外資源（山梨産業保健推進センター）

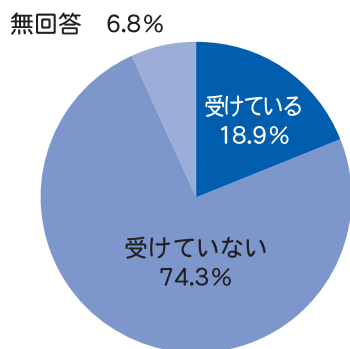
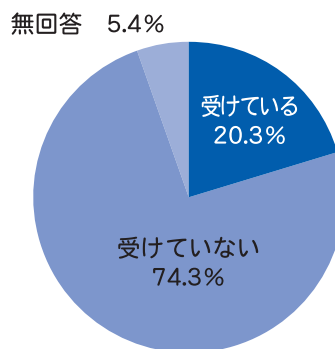


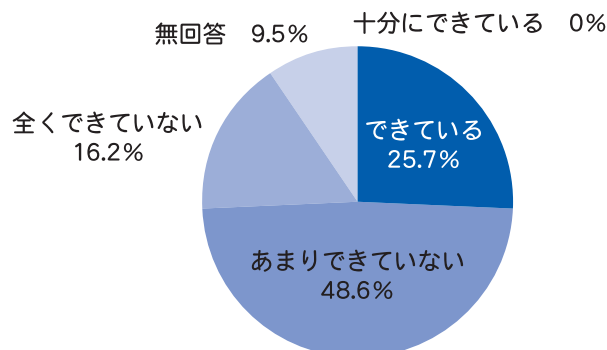
図2-2 事業場外資源（地域産業保健センター）



(4) 心の健康問題に関するケア

約半分の事業場で、心の健康問題に関するケアが実施できていないとの回答であり、心の健康問題に関するケアが十分に実施できている事業場が少ないことが確認できた。

図3 心の健康問題に関するケア



(5) 事業主の意識

心の健康問題に関するケアへの関心度と担当者アンケートとの相関関係をみると、担当者がメンタルヘルス指針を知っている事業場では、事業主の産業保健スタッフの職務について理解度が高かった。労働者に対する教育研修・情報提供を行っている事業場との相関関係も、同様に事業主の関心の方が高かった。その他、労働者の職場環境の整備、管理監督者に対する教育研修・情報提供や問題点を把握する体制の整備などについても同様のことが言える。

以上のことから、事業主の意識がメンタルヘルスケアに関する様々な実施状況に影響していることが確認された。しかし、アンケート用紙を回収する際に、事業主が「メンタルヘルスケアを必要としない」と明言した事業場も幾つかあり、メンタルヘルスケアに関する事業主の意識に大きな隔りがあることも確認された。

今後、山梨県内の各事業場が取り組むべきことは、第1に、事業主が心の健康問題についてより関心を示し、事業場内産業保健スタッフや現場管理監督者と共に積極的にメンタルヘルスケアを推進していくことだと考えられる。上記したように、事業場におけるメンタルヘルスケアの実施には事業主の意識が大きく影響しており、先ずは、メンタルヘルスケアに関する事業主の意識改革が必要であろう。

第2に、メンタルヘルスケアに関する教育研修、情報提供、支援状況があまり普及していないことから、事業場内における情報提供を推進することが必要である。特に、セルフケア（自己管理）の重要性に関する情報、知識を積極的に提供すべきである。そうした上で、メンタルヘルスケアに関する教育研修を積極的に受けるようにし、支援体制を整備していくことが必要である。

第3に、事業場と事業場外資源との連携が整っていない現状から、他の事業場との連携を深めていくことも必要であろう。メンタルヘルスケアに関しは、まだ初期の段階であると考えられるので、それぞれの事業場でそれほどノウハウがあるとも考えづらいし、また、事業場による相違も考えられる。このような観点から、事業場内だけでなく、他の事業場との連携によって、メンタルヘルスケアの支援体制を整備していくことが必要であろう。

未だに発展途上である山梨県内の事業場におけるメンタルヘルスケアの実施であるが、上記したような提言を各事業所が積極的に受け入れていけば、各事業場におけるメンタルヘルスケアは大いに充実することが期待される。そのため、山梨産業保健推進センターの役割が重要となってくる。

4 考 察

今回の調査は従業員200名以上の事業場を対象として行ったが、実際従業員数においても事業場数においてもこれより小さい規模の事業場が多数を占めている。当然のことながら、中小零細企業では、今回調査を行った大企業よりも劣悪な労働環境・労働状況が予測される。今後、地域産業保健センターや労働衛生機関との連携を深め、中小零細企業のメンタルヘルスケアの現状も把握したい。

山梨産業保健推進センターは、産業保健に関する調査研究を行っています。平成15年度は、テーマを「山梨県内におけるメンタルヘルスケアの実態調査」として実施しました。その結果を冊子にまとめ、調査にご協力いただいた事業場に送りました。読者の方で、冊子をご希望の方は連絡をください。

平成16年度 労働衛生研修会後記

産業保健推進センター相談員 笹 本 清
(笹本クリニック院長)

平成16年8月8日・三田・建築会館にて、労働衛生研修を受講しました。
私見を添えて話題提供したく思います。表のように、4部構成にておこなわれました。

平成16年度 労働衛生研修会研修科目・講師及び時間割

東京会場 8月8日(日) 大阪会場 8月22日(日)

総合司会 東京会場：野 田 一 雄 大阪会場：大 野 浩

9:00～9:20	受 付	
9:20～10:30	開講のことば	研修委員長
9:30～10:40	労働衛生行政の重点	厚生労働省衛生課 主任中央労働衛生技官 高橋 祐輔
10:50～12:00	労働衛生コンサルタント に期待するもの	産業医科大学 学長 大久保利晃
12:00～12:50	昼 食 休 憩	
12:50～14:00	海外衛生情報の動向	中央労働災害防止協会 国際安全衛生センター所長 五十嵐晃一
14:00～14:10	休 憩	
14:10～16:10	労働衛生診断の効果的な 進め方 ー特別衛生診断の事例研究ー	東京会場 司 会 山田 裕 発表者 金子 雅英 発表者 山室 栄三
		大阪会場 司 会 岡 卓爾 発表者 藤森 次勝 発表者 村田 和弘
16:10	閉 講	

I 労働衛生行政の重点

厚生労働省労働衛生課 主任中央労働衛生専門官 高橋 祐輔

労働者の健康の現状説明

- ①労災発生状況 ②健康診断からの状況 ③心身両面の健康状況

労働衛生行政の重点課題

- ①平成16年地方労働行政運営方針 ②過重労働災害防止 ③メンタルヘルス
④健康情報保護 ⑤事務所衛生規則の改正 ⑥化学物質に係る対策

労災死亡者数・被災者数ともに減少しています。不況にて仕事量の減少が一因にあります。景気回復にて逆に、増加するようでは困ります。健康診断の有所見率は47%に達しています。高齢化と検査項目の追加も原因です。血中脂質・肝機能・高血圧等が増加して、わずかに聴力所見の異常が減少しています。働く人の6割がストレスを感じています。THP活動にて、心身の健康づくりを推進。労働安全衛生マネジメントシステムを推進。労働者の疲労蓄積自己診断チェックリストを周知。時間外労働の削減と産業医等による助言指導等の強化を行います。小規模事業所の健康確保には、行政法人労働者健康福祉機構の作成マニュアルの活用普及を推進します。職域・地域の連携等によるメンタルヘルス対策を推進。個人情報保護に関する法が整備されてきました。与党の骨太政策にて『健康フロンティア』～若いうちから健康度を増して、糖尿病・癌を減らす。長期的には、職域保健から地域保健への連携が、必要です。大規模事業所の講習会の地域へのオープン化などで具体化できればと思います。

私見

労働衛生の広範囲にわたる話でした。地域における中小事業所の健康管理の構築、個人の健康情報の在りかた等参考になりました。実行は、現場の問題と思います。増えるばかり課題を整理・統合するマネジメント能力が必要になります。

II 労働衛生コンサルタントに期待するもの

産業医科大学学長 労働衛生コンサルタント 大久保 利 晃

働く人の60%以上は、50人未満の中小事業所に所属します。しかし、現行法においては、地域産保等あるにせよ、労働衛生サービスの恩恵はほとんど、受けられていません。職場は有害・危険であるという固定観念からの脱却が必要です。労働健康指標の設定が有意義です。小規模事業所は類型型(推進センター版)の健康管理システム構築が、効果的だと思います。最近の事業所は、パート・フリーター等の比率が高く、これを受けて、(職域)場の労働衛生は保てず、地域保健にその役目を譲るかもしれません。国立大学の独立法人化により、コンサルタントの活躍の場が広がりました。反面、倫理・契約・達成度の問題が、表出てきます。産業専門医を取得して、現場を経験して、その後に労働衛生コンサルタントを目指すのが理想です。専門家としてのキャリアを形成するには、常に、人のネットワークにて研鑽が必要だと思います。

私見

経験と知識に裏打ちされた含蓄のある講演でした。現行法では、守りきれない労働者の健康と管理

～就業形態の変化に伴う労働衛生の将来への展望を得ました。

Ⅲ 海外衛生情報の動向

中央労働災害防止協会 国際安全衛生センター所長 五十嵐 晃 一

職場の安全衛生に関する日本とEUの連携が行われています。アメリカ・カナダ・ブラジルともパートナーシップが組まれています。2004年秋には統一したフォーマットにて日本の労働衛生情報を提供する予定です。欧州安全衛生機構は、スペインのビルバオ市にあり、欧州連合にて設立されました。日本はILOの条約の中で労衛法にそぐわないものは未批准としています。これら比して、諸外国においては批准しても実行を伴わないことが多く、国情の違いが大きいです。

＊ILO-O SH2001：ILOが公表しているOSHMSに関する唯一の国際基準です。厚労省指針及び中災防の基準もこれに沿ったものです。

ホームページの海外衛生事情のトピックスは、エルゴノミクス・ストレス・職業疾病等です。日本の情報は、自殺・労災補償請求と認定状況・労働災害及び業務上疾病の推移・障害等級別労働者障害補償等が掲載してあります。

私 見

労働衛生も国情の違いでさまざまです。言語の違いを共通ウェブにて克服し、情報と人の交流が出来れば労働衛生コンサルタント・海外雄飛組が出現すると思います。

Ⅳ 事例研究

司 会 山 田 裕

発表者 金子 雅英 ●小規模事業所のメンタルヘルス成功例

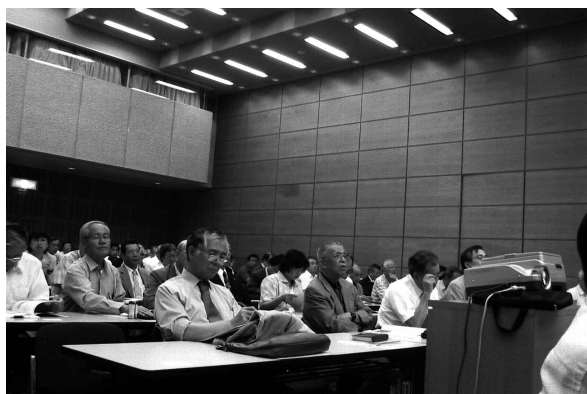
コンサルタントも心理相談員研修会にて自己研鑽を積み、高齢にても業務の遂行が可能。

発表者 山室 栄三 ●経営が厳しく安全衛生に手の回らない事業所への安全衛生診断の体験

形式的診断と改善計画にては、時間経過みても実動ありませんでした。換気装置のみ妥協的方法にて、改善を試みました。経済障壁・人的障壁に小規模事業所の現状提示。

私 見

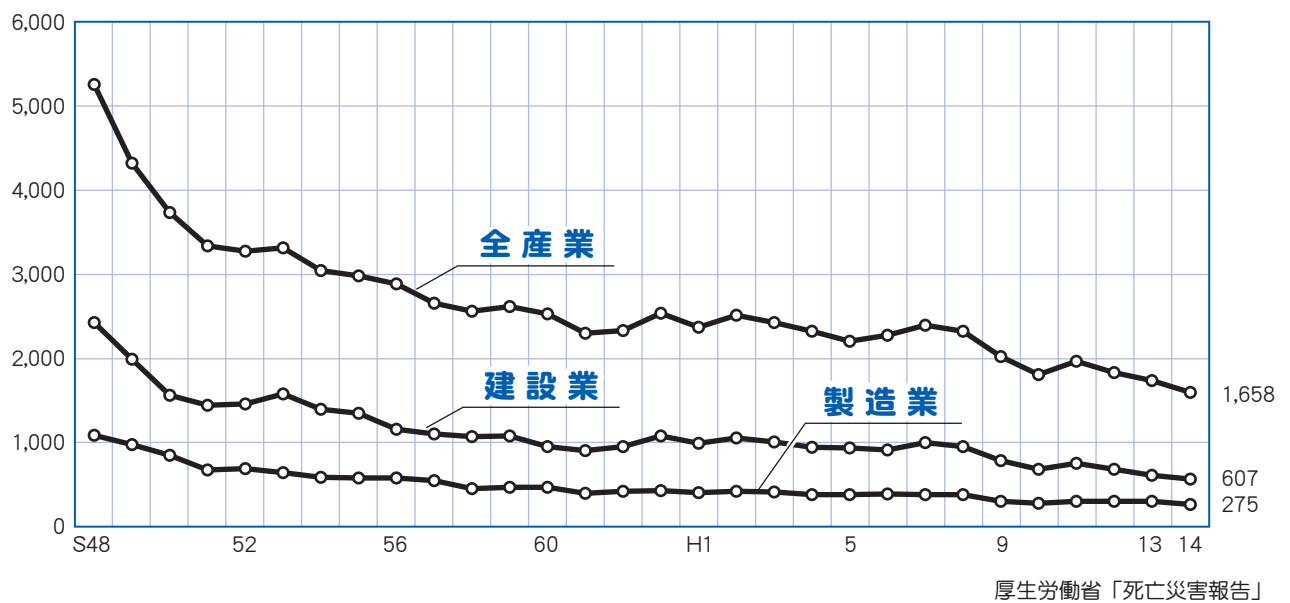
コンサルタントの業務の現実事例研究のレベルが、多いと推察します。働く人と事業所の困難部分に臨む意欲とスキルの必要性を感じます。



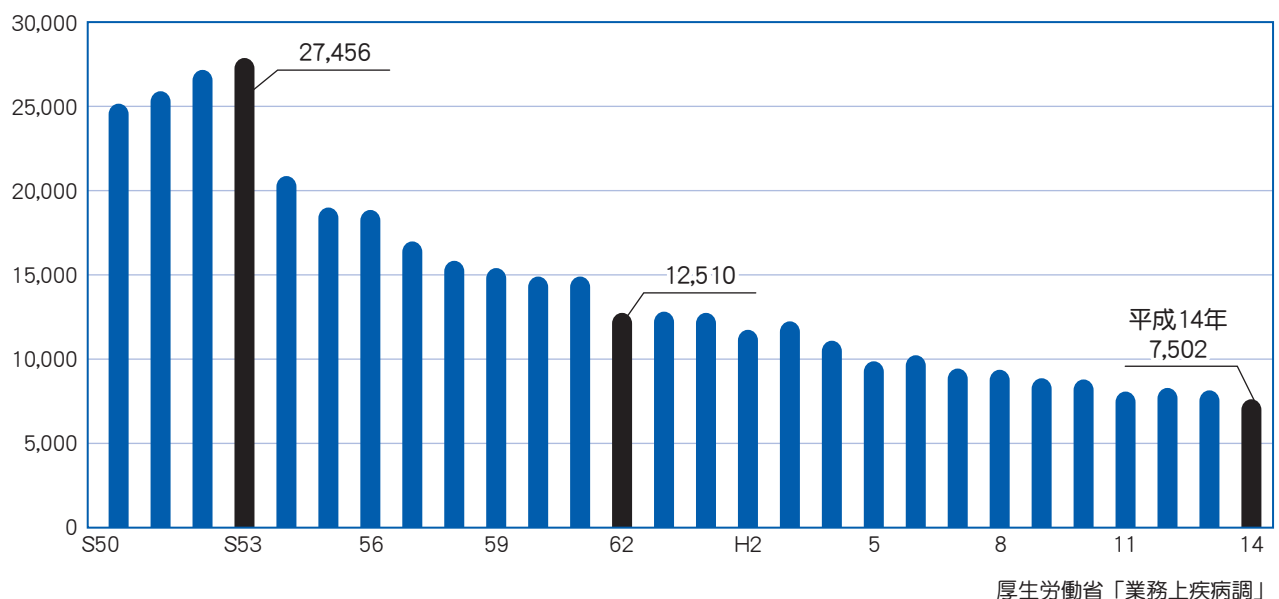


今年度の研修は、労働衛生コンサルタントとしての存在意義、労働衛生全般の課題整理、海外労働衛生事情、コンサルタントに求められるスキル等考える機会となりました。

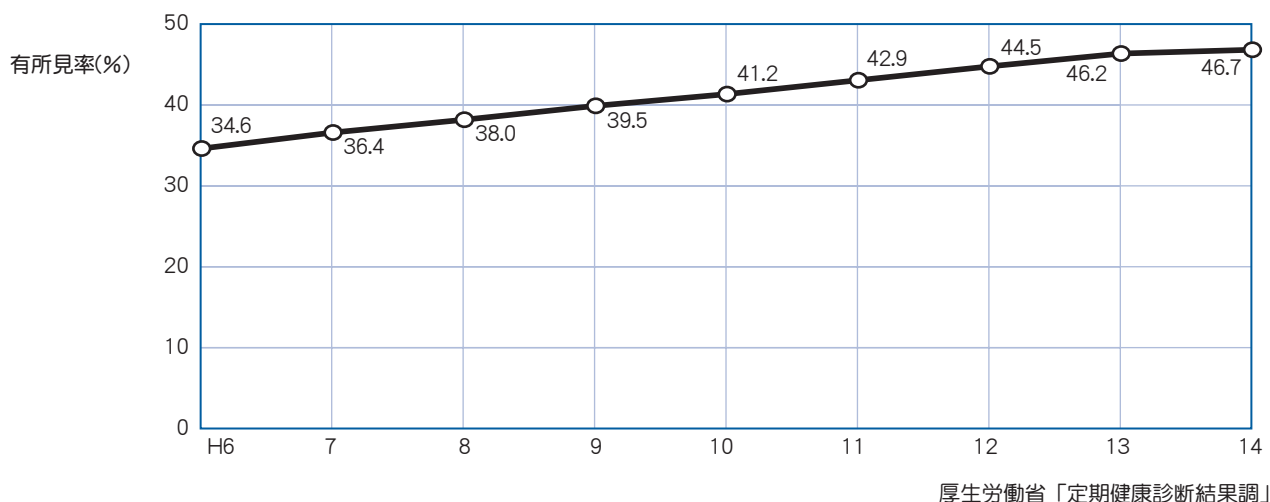
労働災害による死亡者数



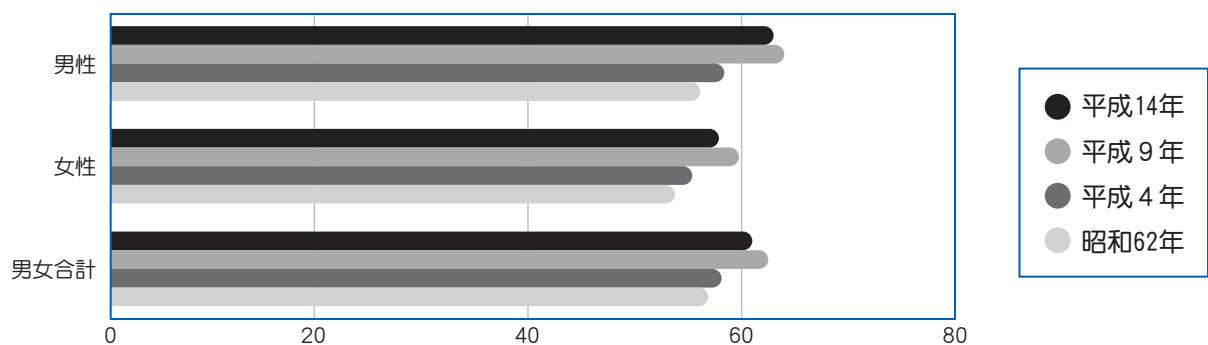
業務上疾病者数



定期健康診断有所見率推移



仕事や職業生活での強い不安、悩み、ストレスのある者



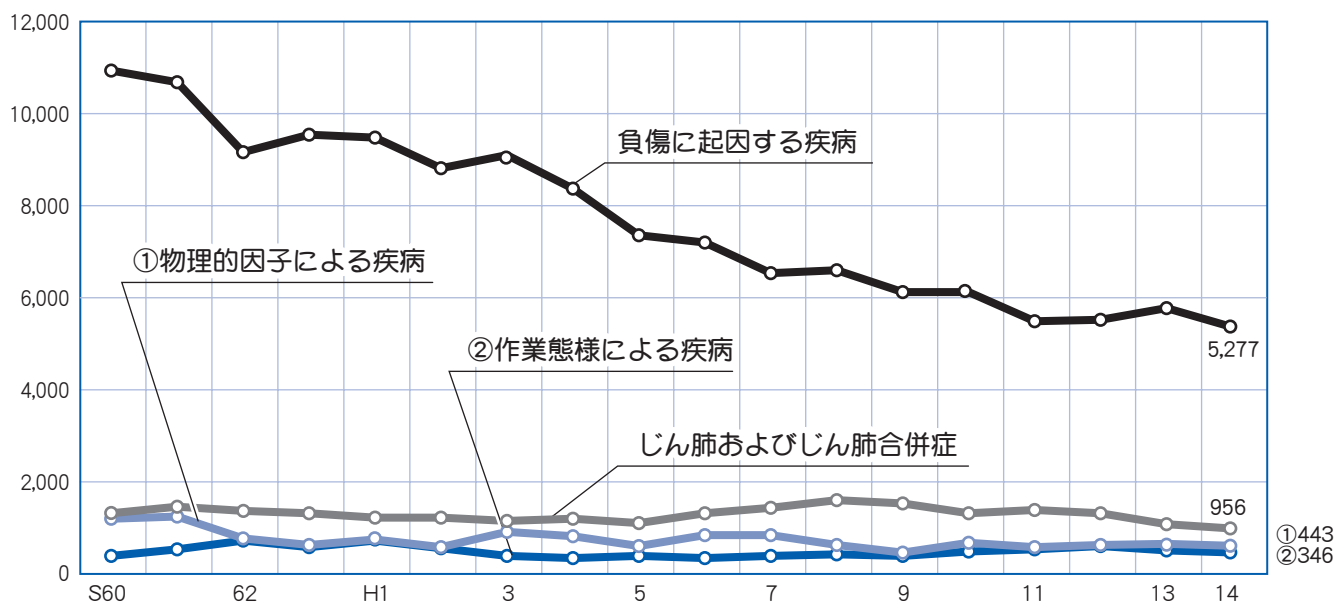
労働者の強い不安、悩み、ストレスの内容

性・就業形態	強い不安、悩み、ストレスがある労働者計		強い不安、悩み、ストレスの内容												
			仕事の質	仕事の量	仕事への適性	情報化・技術革新への対応	職場環境・関係	昇進、昇給	配置転換	転勤・転居	雇用の安定性	会社の将来性	仕事・年・老後の生活	その他	
平成14年度	[61.5]	100	30.4	32.3	20.2	8.9	35.1	14.5	6.4	3.9	17.7	29.1	17.2	7.7	
男	[63.8]	100	32.1	32.2	18.1	8.8	30.0	16.0	6.1	5.8	18.7	34.2	20.4	6.2	
女	[57.7]	100	27.3	32.4	23.9	9.0	44.4	11.6	6.9	0.4	15.9	19.9	11.3	10.3	
就業形態															
一般社員	[64.4]	100	31.5	32.4	20.0	9.6	34.5	14.9	6.6	4.4	16.4	31.8	17.6	7.1	
契約社員	[61.2]	100	25.2	27.8	24.1	2.9	35.9	19.7	3.4	1.1	39.2	11.3	18.2	5.4	
パート労働者	[42.4]	100	21.5	33.7	20.2	5.1	41.4	7.2	5.6	—	19.8	10.9	12.3	14.6	
平成9年	[62.8]	100	33.5	33.3	22.8		46.2	19.8	7.5	1.7	13.1		17.3	10.4	

注) 1 [] は、全労働者のうち「強い不安、悩み、ストレスがある労働者」の割合である。

2 平成14年度調査では「情報化・技術革新への対応の問題」及び「会社の将来性の問題」を新規の調査項目とし、「単身赴任の問題」1.3%、「職場の喫煙の問題」3.9%を削除した。

業務上疾病者数推移



脳血管疾患及び虚血性心疾患等（「過労死」等事案）の労災補償状況（件）

区 分		年 度				
		平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
脳・血管疾患	請求件数	493	617	690	819	705
	認定件数	81	85	143	317	312
うち死亡	請求件数	—	—	—	—	306
	認定件数	48	45	58	160	157

- 注） 1 本表は、労働基準法施行規則別表第1の2第9号の「業務に起因することの明らかな疾病に係る脳血管疾患及び虚血性心疾患等（「過労死」等事案）について集計したものである。
- 2 認定件数は当該年度に請求されたものに限るものではない。
- 3 平成13年12月に脳・心臓疾患の認定基準が改正されている。
- 3 平成14年度以降に係る請求件数については把握していない。

精神障害等の労災補償状況（件）

区 分		年 度				
		平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
精神障害等	請求件数	155	212	265	341	438
	認定件数	14	36	70	100	108
うち自殺（未遂を含む）	請求件数	93	100	92	112	121
	認定件数	11	19	31	43	40

- 注） 1 認定件数は当該年度に請求されたものに限るものではない。
- 2 平成11年9月に精神障害等の判断指針が策定されている。

事務所衛生基準規則が改正されました

事務所におけるホルムアルデヒドによる労働者の健康リスクの低減等の課題に対応するために事務所衛生基準規則が改正されました。

今回の改正では、事務所の作業環境測定の頻度について、適正な管理が行われている場合には緩和できることになりました。

改 正 の 概 要

1. 空気環境の調整が必要な機器的の追加

空気環境の調整（浮遊粉じん量、一酸化炭素及び二酸化炭素の含有率、ホルムアルデヒド量を基準値以下に抑えること。）を行わなければならない空気調和設備及び機械換気設備について、中央管理方式のものに限定しないこととされました。

なお、この空気調和設備及び機械換気設備とは、「外気を導入して空気を浄化する機能」を有しているものをいいます。

2. ホルムアルデヒドに係る基準の設定及び測定

事務室に供給される空気中のホルムアルデヒドの濃度の基準及び事務室の建築等を行った場合の同室の空気中のホルムアルデヒドの測定について、以下のとおり規定されました。

ホルムアルデヒドの濃度（1気圧、25℃）は、 $0.1\text{mg} / \text{m}^3$ （ 0.08ppm ）以下とすること

事務室の建築、大規模の修繕又は大規模な模様替えを行った場合、当該室の使用を開始した日以後最初に到来する6月から9月までの期間に1回、ホルムアルデヒドの濃度を測定すること。

3. 作業環境測定の実施の頻度の緩和

作業環境測定の実施の頻度について、事務室の気温及び相対湿度が、過去1年間、基準を満たし、かつ、今後1年間もその状況が継続しないおそ

れがない場合には、室温及び外気温並びに相対湿度について、現行の2か月以内ごとに1回行わなければならない測定を春（3月から5月）又は秋（9月から11月）のいずれかの1回、夏（6月から8月）及び冬（12月から2月）における各1回の、年3回の測定とすることができることとされました。

なお、「当該状況が継続しないおそれがない場合」とは、当該事務室に係る空気調和設備の変更を行わない場合、事務室のレイアウトの大幅な変更が予定されていない場合等であって、事務室の気温及び相対湿度に係る基準を満たすことが想定される場合をいいます。

4. 空気調和設備の冷却塔等の点検・清掃の追加

加湿器等の水質の問題として、レジオネラ属菌類等の病原体によって事務室の内部の空気が汚染されることを防止するため、空気調和設備の冷却塔、加湿装置等について、定期に点検、清掃等を実施しなければならないこととされました。

5. ねずみ等の防除方法の効率化

ねずみ、昆虫等の生息の有無に関わらず防除を行うのではなく、その生息状況等を調査した上で、その結果に基づき、適切な防除を実施する等合理的な防除を行うことができることが明確にされました。

また、防除のため、殺そ剤又は殺虫剤を使用する場合は、薬事法の承認を受けた医薬品又は

医薬部外品を用いなければならないことについても併せて明確にされました。

なお、これらの清掃等の実施に係る事項につ

いては、労働安全衛生規則でも同様の改正が行われ、事務室以外にも適用されます。

「事務所衛生基準規則及び労働安全衛生規則の一部を改正する省令」が平成16年3月30日に公布され、上記3及び5が同日付で施行されました。

また、上記1、2及び4については、公布の日から起算して3ヶ月を経過した日（平成16年6月30日）から施行されました。

ご不明な点等がございましたら、**山梨労働局（055－225－2855）**

または、最寄の**労働基準監督署**までお問合せください。



**職場の
かかりつけ医が
いると
安心です。**

**小規模事業場（50人未満）が
共同して産業医を選任すると
助成金が支給されます。**

産業医共同選任事業
（小規模事業場 産業保健活動 支援促進助成金）

山梨産業保健推進センター
TEL 055-220-7020
<http://sanpo19.jp/>

平成 15 年 山梨県内の定期健康診断結果

業種	区分	健康診断 事業場数	受診者 数	特定業 務従事 労働者 数	他覚所見			聴 力 (1000Hz)			聴 力 (4000Hz)			聴 力 (その他)			胸部X線検査			喀痰検査			血 圧		
					実 施 者	施 数	有 見 者 数	実 施 者	施 数	有 見 者 数	実 施 者	施 数	有 見 者 数	実 施 者	施 数	有 見 者 数	実 施 者	施 数	有 見 者 数	実 施 者	施 数	有 見 者 数	実 施 者	施 数	有 見 者 数
01 製 造 業																									
01 食料品製造		46(11)	5,107	470	0	0	0	3,865	187	3,865	245	1,129	2	5,077	142	0	0	5,107	618						
02 繊維工業		2(0)	275	12	0	0	0	200	24	200	31	66	0	274	10	0	0	275	34						
03 衣服繊維		0(0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
04 木材・木製		2(0)	90	0	0	0	0	62	1	62	18	28	0	90	3	0	0	90	3						
05 家具・装飾		3(0)	98	0	0	0	0	93	4	93	8	4	0	98	1	0	0	98	6						
06 パルプ等		5(0)	468	10	0	0	0	369	9	369	22	93	0	467	7	0	0	468	52						
07 印刷製本		2(0)	136	0	0	0	0	71	1	71	3	11	0	136	0	0	0	136	8						
08 化学工業		24(8)	1,594	350	0	0	0	1,313	34	1,306	82	329	0	1,569	40	0	0	1,594	114						
09 窯業土石		2(0)	136	0	0	0	0	135	4	135	16	0	0	136	0	0	0	136	13						
10 鉄 鋼 業		1(1)	43	26	0	0	0	30	2	30	10	14	1	43	2	0	0	43	11						
11 非鉄金属		8(2)	431	287	0	0	0	372	26	372	90	59	0	427	12	10	0	431	67						
12 金属製品		24(5)	1,861	235	0	0	0	1,629	39	1,629	120	244	0	1,851	27	0	0	1,861	155						
13 一般機器		41(10)	7,669	932	0	0	0	6,230	118	6,230	382	1,118	1	7,156	102	0	0	7,669	710						
14 電気機器		80(27)	11,630	3,188	0	0	0	8,222	158	8,297	394	1,686	5	11,081	216	37	0	11,593	904						
15 輸送機械		13(5)	2,622	267	0	0	0	2,070	50	2,053	141	558	0	2,492	105	0	0	2,621	310						
16 電気ガス		12(10)	1,311	79	0	0	0	1,086	10	1,086	57	415	0	937	24	0	0	1,264	173						
17 他の製造		17(6)	1,368	268	0	0	0	1,238	23	1,238	49	123	0	1,342	22	20	0	1,368	101						
小 計		282(85)	34,839	6,124	0	0	0	26,985	690	27,036	1,668	5,877	9	33,176	713	67	0	34,754	3,279						
02 鉱 業																									
01 石炭鉱業		0(0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
02 土石採取		2(0)	38	0	0	0	0	38	5	38	9	0	0	38	0	0	0	38	7						
03 他の鉱業		0(0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
小 計		2(0)	38	0	0	0	0	38	5	38	9	0	0	38	0	0	0	38	7						
03 建設業																									
01 土木工事		10(0)	658	118	0	0	0	657	38	657	136	0	0	658	18	1	1	658	86						
02 建築工事		11(0)	860	88	0	0	0	747	19	747	72	113	0	857	15	0	0	860	91						
03 他の建設		4(0)	472	0	0	0	0	472	14	472	45	0	0	470	11	0	0	472	31						
小 計		25(0)	1,990	206	0	0	0	1,876	71	1,876	253	113	0	1,985	44	1	1	1,990	208						
04 運輸交通																									
01 鉄 道 等		6(1)	504	394	0	0	0	504	19	504	35	0	0	504	0	0	0	504	86						
02 道路旅客		6(1)	494	56	0	0	0	490	37	490	84	4	0	494	12	0	0	494	109						
03 道路貨物		20(5)	1,300	108	0	0	0	1,069	38	1,069	107	19	0	1,263	47	50	10	1,300	179						
04 他の運輸		2(0)	159	0	0	0	0	159	11	159	21	0	0	159	3	0	0	159	14						
小 計		34(7)	2,457	558	0	0	0	2,222	105	2,222	247	23	0	2,420	62	50	10	2,457	388						
05 貨物取扱																									
01 陸上貨物		3(1)	241	2	0	0	0	222	6	222	13	0	0	240	10	0	0	241	21						
02 港湾運送		0(0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
小 計		3(1)	241	2	0	0	0	222	6	222	13	0	0	240	10	0	0	241	21						
1号～5号中計		346(93)	39,565	6,890	0	0	0	31,343	877	31,394	2,190	6,013	9	37,859	829	118	11	39,480	3,903						
06 農 林 業		1(0)	91	0	0	0	0	73	4	73	2	18	0	89	1	0	0	91	4						
07 畜産・水産		0(0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
08 商 業		107(4)	7,887	155	0	0	0	4,893	184	4,893	215	2,161	3	7,849	175	108	0	7,886	781						
09 金融広告		22(2)	3,745	191	0	0	0	3,151	86	3,151	167	559	6	3,709	85	14	0	3,745	422						
10 映画・演劇		0(0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
11 通 信 業		19(1)	1,593	239	0	0	0	1,332	57	1,334	85	247	1	1,592	142	0	0	1,593	567						
12 教育研究		16(1)	1,146	27	0	0	0	990	35	990	71	238	0	1,197	13	43	0	1,146	70						
13 保健衛生		57(25)	7,403	3,714	0	0	0	3,028	80	3,040	105	1,294	4	6,697	142	119	0	7,274	417						
14 接客娯楽		50(4)	3,557	194	0	0	0	2,969	96	2,862	189	386	0	3,520	78	69	1	3,547	391						
15 清掃・と畜		9(1)	1,296	274	0	0	0	1,234	106	1,234	116	0	0	1,254	30	0	0	1,296	183						
16 官 公 署		4(0)	459	0	0	0	0	341	10	341	8	121	0	459	4	0	0	459	76						
17 他の事業		40(4)	3,805	354	0	0	0	3,162	159	3,159	220	405	0	3,710	116	12	0	3,805	623						
6号～17号中計		325(42)	30,982	5,148	0	0	0	21,173	817	21,077	1,178	5,429	14	30,076	786	365	1	30,842	3,534						
合 計		671(135)	70,547	12,038	0	0	0	52,516	1,694	52,471	3,368	11,442	23	67,935	1,615	483	12	70,322	7,437						

貧血検査				肝機能検査				血中脂質検査				血糖検査				尿検査（糖）				尿検査（蛋白）				心電図検査				医師の 指示人 数	所見のあった者 (他覚所見のみを除く)			歯科健診						
実 施 者	施 数	有 見 者 数	所 見 者 数	実 施 者	施 数	有 見 者 数	所 見 者 数	実 施 者	施 数	有 見 者 数	所 見 者 数	実 施 者	施 数	有 見 者 数	所 見 者 数	実 施 者	施 数	有 見 者 数	所 見 者 数	実 施 者	施 数	有 見 者 数	所 見 者 数	実 施 者	施 数	有 見 者 数	所 見 率 (%)		実 施 者	施 数	有 見 者 数	所 見 者 数						
	4,544		433		4,631		777		4,568		1,455		3,452		311		4,965		224		5,055		186		3,330		276		1,455		2,831		55.43			30		3
	275		44		275		108		275		94		200		26		275		15		275		19		200		19		102		198		72		0		0	
	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	
	90		8		90		27		90		21		62		7		90		3		90		4		62		6		29		55		61.11		0		0	
	83		1		86		12		86		14		46		5		96		3		96		2		82		3		31		46		46.94		0		0	
	455		52		455		120		455		147		375		47		462		13		462		7		372		24		157		287		61.32		0		0	
	136		4		136		17		136		21		125		7		134		1		134		2		136		1		14		44		32.35		0		0	
	1,315		106		1,269		256		1,270		337		1,040		91		1,485		41		1,521		38		958		69		407		727		45.61		15		0	
	135		10		135		30		135		36		135		9		136		0		136		2		136		10		43		64		47.06		0		0	
	30		0		30		6		30		5		30		4		42		1		42		3		30		5		10		22		51.16		0		0	
	342		36		380		80		380		121		369		51		325		16		427		24		315		28		146		259		60.09		0		0	
	1,492		81		1,519		267		1,519		459		1,224		127		1,773		65		1,833		65		1,150		109		486		883		47.45		0		0	
	6,160		432		6,030		1,289		5,693		1,759		5,454		484		7,529		177		7,589		135		4,985		365		1,511		3,716		48.45		232		3	
	8,804		364		9,082		1,513		8,480		2,339		7,102		529		11,489		248		11,528		269		6,253		487		2,460		4,873		41.9		720		144	
	1,804		77		1,800		192		1,781		490		1,855		176		2,581		93		2,584		43		1,770		122		766		1,070		40.81		22		0	
	955		34		1,009		260		1,041		228		993		64		1,255		44		1,255		31		968		14		499		562		42.87		3		1	
	1,303		82		1,302		202		1,254		277		1,151		74		1,350		25		1,342		34		1,077		58		343		604		44.15		45		0	
	27,923		1,764		28,229		5,156		27,193		7,803		23,613		2,012		33,987		969		34,369		864		21,824		1,596		8,459		16,241		46.62		1,067		151	
	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	
	38		4		38		22		38		13		38		8		38		2		38		1		38		3		19		33		86.84		0		0	
	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	
	38		4		38		22		38		13		38		8		38		2		38		1		38		3		19		33		86.84		0		0	
	657		51		657		179		657		238		656		65		541		44		658		20		648		76		304		483		73.4		0		0	
	845		46		845		229		845		277		698		51		857		26		857		26		730		44		312		493		57.33		0		0	
	472		3		472		77		472		76		472		36		471		21		471		9		472		10		146		217		45.97		0		0	
	1,974		100		1,974		485		1,974		591		1,826		152		1,869		91		1,986		55		1,850		130		762		1,193		59.95		0		0	
	389		6		389		60		389		67		389		25		501		19		501		12		378		21		116		199		39.48		0		0	
	403		59		455		173		455		236		455		84		433		61		433		18		455		30		246		374		75.71		0		0	
	1,000		66		1,111		187		1,088		317		1,037		113		1,296		79		1,296		55		957		79		455		656		50.46		19		8	
	159		13		136		44		136		67		136		18		159		3		159		6		137		10		48		110		69.18		0		0	
	1,951		144		2,091		464		2,068		687		2,017		240		2,389		162		2,389		91		1,927		140		865		1,339		54.5		19		8	
	167		8		241		23		241		52		241		8		241		9		241		4		222		25		60		124		51.45		0		0	
	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	
	167		8		241		23		241		52		241		8		241		9		241		4		222		25		60		124		51.45		0		0	
	32,053		2,020		32,573		6,150		31,514		9,146		27,735		2,420		38,524		1,233		39,023		1,015		25,861		1,894		10,165		18,930		47.85		916		159	
	91		21		91		14		91		35		73		3		91		0		91		3		73		4		27		62		68.13		0		0	
	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	
	6,834		583		6,836		1,086		6,570		2,069		5,786		371		7,643		216		7,732		179		4,614		355		2,082		3,812		48.33		65		14	
	3,587		206		3,494		501		3,527		963		3,424		207		3,769		102		3,817		114		3,314		458		1,091		2,023		54.02		44		0	
	0		0		0		0		0		0		0		0																							

健康診断及び特殊健康診断実施機関一覧

(山梨労働局調べ)

名 所 在 地	電話番号	定期	歯	有	鉛	四	特	高	電	じ	V	騒	振	腰
山梨県立中央病院 〒400-0027 甲府市富士見1丁目1-1	055-253-7111	○								○				
市立甲府病院 〒400-0832 甲府市増坪町366	055-244-1111	○	○							○	○			○
組合立山梨甲陽病院 〒408-0034 北巨摩郡長坂町大八田3954	0551-32-3221	○		○	○	○	○	○	○	○	○			○
国立療養所西甲府病院 〒400-0075 甲府市山宮町3368	055-251-4111	○								○				
社会保険山梨病院健康管理センター 〒400-0025 甲府市朝日3-8-31	055-251-5855	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
巨摩共立病院 〒400-0301 南アルプス市桃園340	055-283-3131	○		○	○					○	○	○		○
(医) 社団慈成会 三枝病院 〒400-0111 中巨摩郡竜王町竜王新町字西裏1440	055-279-0222	○							○					
(医) 弘済会 宮川病院 〒400-0211 南アルプス市上今諏訪1750	055-282-1107	○		○			○		○	○				
武川病院 〒409-3852 中巨摩郡昭和町飯喰1277	055-275-7311	○			○	○				○		○		
(医) 仁代会 竜王リハビリテーション病院 〒400-0114 中巨摩郡竜王町万才287	055-276-1155	○												○
(医) 慶友会 城東病院 〒400-0861 甲府市城東4-13-15	055-233-6411	○		○	○	○								
(社) 甲府市医師会 医療センター 〒400-0031 甲府市丸の内2-32-11	055-226-6382	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(財) 甲南健康福祉協会 〒400-0116 中巨摩郡竜王町玉川251-4	055-278-0311	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
(社) 山梨県歯科医師会 山梨口腔保健センター 〒400-0015 甲府市大手1-4-1	055-252-9955		○											
大月市立中央病院 〒401-0015 大月市大月町花咲1225	0554-22-1251	○		○	○				○					
都留市立病院 〒402-0056 都留市つる5丁目1-55	0554-45-1811	○		○	○	○	○		○	○	○		○	○
上野原町立病院 〒409-0112 北都留郡上野原町上野原3195	0554-62-5121	○		○	○		○	○	○	○	○	○		○
国民健康保険富士吉田市立病院 〒403-0005 富士吉田市緑ヶ丘2-8-1	0555-22-4111	○								○			○	
山梨赤十字病院 〒401-0301 南都留郡河口湖町船津字剣丸尾6663-1	0555-72-2222	○		○	○				○		○			○
市川大門町立病院 〒409-3601 西八代郡市川大門町428-1	055-272-3000	○		○	○	○	○			○		○		○
(医) 峡南病院 〒400-0601 南巨摩郡鵜沢町1806	0556-22-4411	○												○
社会保険鵜沢病院 〒400-0601 南巨摩郡鵜沢町340-1	0556-22-3135	○		○	○	○	○	○	○	○		○		
(財) 身延山病院 〒409-2531 南巨摩郡身延町梅平2483-167	0556-62-1061	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(財) 山梨厚生会 山梨厚生病院 〒405-0033 山梨市落合860	0553-23-1311	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(医財) 加納岩総合病院健康管理室 〒405-0018 山梨市上神内川1309	0553-22-2511	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
山梨温泉病院 〒406-0004 東山梨郡春日居町小松855	0553-26-3030	○							○					

※特定化学物質については、対象業務の区分により実施できないものがあるので、別表を参照のこと

名 所 在 地	電話番号	定 期	歯	有	鉛	四	特	高	電	じ	V	騒	振	腰
(財)山梨整肢更生会 富士温泉病院 〒406-0004 東山梨郡春日居町小松下河原1177	0553-26-3331	○							○					
春日居リハビリテーション病院 〒406-0014 東山梨郡春日居町国府436	0553-26-4128	○							○	○				○
(医)桃花会 一宮温泉病院 〒405-0077 東八代郡一宮町坪井1745	0553-47-3131	○	○							○				○
(財)山梨労働衛生センター 〒405-0033 山梨市落合860	0553-22-7898	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
韮崎市立病院 〒407-0024 韮崎市本町3-5-3	0551-22-1221	○												
(医)甲療会 赤坂台病院 〒400-0111 中巨摩郡竜王町竜王新町2150	055-279-0111	○												
韮崎相互病院 〒407-0024 韮崎市本町1-16-2	0551-22-2521	○												
(医)銀門会 甲州リハビリテーション病院 〒406-0032 東八代郡石和町四日市場2031	055-282-3121	○												
山梨県厚生連健康管理センター 〒400-0035 甲府市飯田3丁目2-44	055-223-3630	○												
勝沼町立勝沼病院 〒409-1316 東山梨郡勝沼町勝沼950	0553-44-1166	○												
日下部記念病院 〒405-0018 山梨市上神内川1363	0553-22-0536	○												
(財)山梨厚生会塩山市民病院 〒 塩山市西広門田433-1	0553-32-5111	○								○		○		
(財)山梨県健康事業団 〒400-0034 甲府市宝1-4-16	055-225-2802	○		○	○	○				○				

定期…定期健康診断 歯…歯科検診 有…有機溶剤 鉛…鉛 四…四アルキル鉛 特…特定化学物質等 高…高気圧作業
電…電離放射線 じ…じん肺 V…VDT 騒…騒音 振…振動障害 腰…腰痛

労働者健康保持増進サービス機関

機関の名称	所 在 地	電話番号
(財)山梨労働衛生センター	〒405-0033 山梨市落合680	0553-22-7898
(医)向陽会ひかりの里クリニック	〒407-0108 北巨摩郡双葉町宇津谷1111	0551-20-3600

(中央労働災害防止協会健康確保推進部発行名簿登録機関)

作業環境測定機関一覧

測定機関の名称	所 在 地	電話番号	登録号別
(財)山梨労働衛生センター	〒405-0033 山梨市落合860	0553-22-7898	1号・3号 4号・5号
河口湖精密(株)環境分析センター	〒401-0301 南都留郡河口湖町船津6663-2	0555-23-1231	(3号) 5号
中央環境理研(有)	〒400-0306 南アルプス市小笠原6	055-283-6155	3号・5号
(株)メイキョー	〒400-0047 甲府市徳行2-2-38	055-228-2858	1号・3号 4号・5号
(株)山梨県環境科学検査センター	〒400-0111 中巨摩郡竜王町竜王新町2277-12	055-278-1600	1号・3号 4号・5号
甲府タカヤマ環境計量(株)	〒409-3845 中巨摩郡田富町流通団地1-6-1	055-274-0788	1号・5号

1号特定粉じん作業・3号特化等業務・4号鉛金属等業務・5号有機溶剤業務

()は休止中

平成17年度 研修の年間予定

予定月	研修の名称	対象職種						備考
		産	保	事	管	人	衛	
4月	健康管理に関する研修			○	○	○		
	衛生管理者レベルアップ研修						○	
5月	衛生管理者レベルアップ研修						○	
	修情報処理研修①		○					
6月	産業医研修	○						
	健康管理に関する研修			○	○	○		
	カウンセリング研修①			○	○	○		
	修情報処理研修②		○					
7月	カウンセリング研修②			○	○	○		
	衛生管理者レベルアップ研修						○	
	情報処理研修③		○					
	産業看護講座短縮Nコース①							
8月	産業医研修	○						
	カウンセリング研修③			○	○	○		
	産業看護講座短縮Nコース②							
	産業看護講座短縮Nコース③							
	情報処理研修④		○					
9月	作業環境管理研修			○	○	○		
	衛生管理者レベルアップ研修						○	
	産業看護講座短縮Nコース④							
	情報処理研修⑤		○					
10月	作業環境管理研修			○	○	○		
	衛生管理者レベルアップ研修						○	
	修健康管理に関する研修		○					
11月	産業医研修	○						
	カウンセリング研修①			○	○	○		
	衛生管理者レベルアップ研修						○	
	修カウンセリング研修①		○					
12月	カウンセリング研修②			○	○	○		
	カウンセリング研修②		○					
	産業看護講座基礎コース前期①		○					
1月	カウンセリング研修②			○	○	○		
	衛生管理者レベルアップ研修						○	
	カウンセリング研修③		○					
	産業看護講座基礎コース前期②		○					
2月	産業医研修	○						
	衛生管理者レベルアップ研修						○	
	健康管理に関する研修			○	○	○		
	産業看護講座基礎コース前期③		○					
	健康管理に関する研修		○					
3月	健康管理に関する研修			○	○	○		
	衛生管理者レベルアップ研修						○	
	健康管理に関する研修		○					

産－産業医 保－保健師・看護師 事－事業主 管－管理監督者 人－人事労務担当者 衛－衛生管理者

研修の日程・内容などの詳細は、開催案内通知、または、ホームページ（<http://sanpo19.jp>）をご覧ください。
 なお、会場・講師の都合により日程が変更になる場合がございます。

図書・ビデオ・機器等貸出し登録票

山梨産業保健推進センター所長 殿

申 込 日：平成 年 月 日

利用者登録カード番号		氏 名	
事業所等名称（部署名）		連絡先等電話番号	
()		TEL : ()	
		FAX : ()	
住 所 等			
〒			
職 種 名：（○をして下さい）			
1. 産業医等	2. 保健師・看護師	3. 事業主	4. 労務管理担当者
5. 衛生管理者	6. 産業保健関係機関	7. 労働者	8. その他
主な利用方法（よろしければ記入下さい）			

●二重枠内のところを記入下さい

貸出し登録にあたり、貸出物品に対し、

- 図書・ビデオ・測定用機器の貸出は、1回につき合わせて5点以内とする。
- 図書・ビデオの宅配便貸出・返却は、利用者負担とする。
- 計測用機器等の機材の宅配便での貸出し・返却は行いません。
- 貸出期間は1週間以内とする。
- 破損等については、利用者負担とする。
- 住所・連絡先等に変更のある場合、早急にセンターまで連絡する。

以上を厳守いたします。

センター使用欄

- ※ 初回登録につきましては御面倒とは思いますがセンターにて受け付けます。
- ※ 所在・所属等記載の身分証明書を初回に提示していただきますので予めご了承下さい。

(来 所 ・ 宅 配) ○を記入

図 書 ・ ビ デ オ 貸 出 申 込 書

バーコード番号	電 話 番 号	— — (内線:)
	事 業 場 又は団体名	
	部 署 名	
	フリガナ	
	氏 名	
	職名: ○をご記入ください	
0. 産 業 医 1. 保 健 師 ・ 看 護 師 2. 事 業 主 3. 労 務 管 理 担 当 者 4. 衛 生 管 理 者 5. 産 業 保 健 関 係 機 関 6. 労 働 者 7. そ の 他		
来所の方	市・郡 町	

配 送 先

(※貸出・返却の送料はお客様ご負担となります。)

宅 配 先 希 望 住 所 等		(ご 注 意) 貸出希望日は発送日となります。
電 話 住 所 事業場又は団体名 氏 名		

連絡先と同じ場合は **ご住所** のみ記入して下さい。

貸出ビデオ番号 5本まで	貸出図書番号 5冊まで
記入例: 20-51	記入例: 01-050

貸 出 日 貸出期間は1週間です。 宅配便は貸出日に発送となります。 月 日
返 却 日 宅配便の場合は返却日までに当センターに 到着するようお願いします。 月 日
研修会等で使用される場合はご記入ください。 (使用日) 月 日

山梨産業保健推進センター

TEL (055) 220-7020

FAX (055) 220-7021

図書リスト

01 全 般

登録番号	書 名	発行所
01-314	産業医の職務Q & A [改訂7版]	(財)産業医学振興財団
01-315	産業医の職務Q & A [改訂7版]	(財)産業医学振興財団
01-316	環【歴史・環境・文明】／特集:「食」とは何か	VOL. 16/2004 Winter 藤原書店
01-317	産業保健ハンドブック [2003年度版]	愛知産業保健推進センター
01-318	能力向上教育用テキスト 衛生管理者の実務	中央労働災害防止協会
01-319	産業保健専門職・衛生管理者のためのマネジメントシステムによる産業保健活動	労働調査会
01-320	はたらく女性の妊娠と出産 ～社会婦人科学的にみた～	形成社
01-321	IL0産業安全保健エンサイクロペディア (第Ⅲ巻)	労働調査会
01-322	ヘルスサイエンスのための基本統計学 [第3版]	南山堂
01-323	栄養・健康科学シリーズ 公衆衛生学 [改訂第3版]	南江堂
01-324	日本産業衛生学会 産業看護講座 (上巻)	篠原出版
01-325	日本産業衛生学会 産業看護講座 (下巻)	篠原出版
01-326	現代生活と保健衛生 [第4版]	篠原出版新社
01-327	医師責任訴訟の構造	有斐閣
01-328	専門医への紹介と事後の対応	日本医師会生涯教育カリキュラム 医学的課題・主要診療事項 日本医師会
01-329	業種別・作業別・法令別 安全衛生用品ガイド	労働調査会
01-330	産業医の手引	職場の健康管理のために 社団法人 新潟県医師会
01-331	ぼすと Part 5	小医院からのおたより クリニック いのうえ
01-332	労働衛生のしおり (平成16年度)	中央労働災害防止協会
01-333	働く人の病	産業医学振興財団
01-334	産業保健ハンドブック改訂2版)	労働調査会
01-335	嘱託産業医のための Q & A	労働調査会

02 関係法令

登録番号	書名	発行所
02-102	労働安全衛生法令図説便覧⑤ 第3部 衛生/第4部 資料	第一法規
02-103	会社関係 助成金・融資活用の手引(全)	新日本法規
02-104	人事労務統計情報便覧(全)	新日本法規
02-105	これならわかる!職場のトラブル解決法	保険・税金、パート、派遣…。知ってるようで実は知らない職場のルールが手にとるようにわかる。 労働調査会
02-106	安衛法便覧Ⅰ(平成15年度版)	労働調査会
02-107	安衛法便覧Ⅱ(平成15年度版)	労働調査会
02-108	安衛法便覧Ⅲ(平成15年度版)	労働調査会
02-109	プライバシー等、労働衛生機関をめぐる法律問題 ～プライバシー等、健診実施に関連する法的諸問題～	(社)全国労働衛生団体連合会
02-110	「化審法&安衛法」届出・手続完全マスター	化学工業日報社
02-111	労働時間・休日・休暇管理の手引	新日本法規出版
02-112	[新訂] 体系 労災保険判例総覧 [第六集]	企業通信社
02-113	労災保険 業務上疾病のQ & A	労働基準調査会

03 産業中毒・職業性疾病

登録番号	書名	発行所
03-106	2003TLVs and BEIs 2003ACGIH化学物質と物理因子のTLVs&化学物質のBEIs	日測協資料 NO.51 (社)日本作業環境測定協会
03-107	職業感染の予防と対策 ～医療従事者への警鐘～	真興交易医書出版部
03-108	労災保険 VDT作業と眼精疲労	日研社
03-109	振動障害～35年の軌跡～	労働調査会
03-110	石綿による疾病の新認定基準の解説	労働調査会
03-111	産業保健スタッフのための 頸肩腕障害(上肢障害)入門	労働調査会
03-112	職業・環境がんの疫学	低レベル曝露でのリスク評価 篠原出版新社

04 健康管理

登録番号	書名	発行所
04-204	介護職の健康管理 ～今すぐできる予防と対策～	MINERVA福祉ライブラリー(61) ミネルヴァ書房

04-205	基礎からわかる化学物質による健康障害の防止～有害物の労働衛生管理～		中央労働災害防止協会
04-206	職場ですすめる健康づくりマニュアル		中央労働災害防止協会
04-207	総合診療誌 プライマリケア／総合診療のための『ジム』 JIM～Journal of Integrated Medicine～	特集：健診で異常を指摘された人へのベストガイド	医学書院
04-208	医療・保健スタッフのための健康行動理論の基礎～生活習慣病を中心に～		医歯薬出版
04-209	産業医のための過重労働による健康障害防止マニュアル～過労死予防の総合対策～		(財)産業医学振興財団
04-210	産業医のための過重労働による健康障害防止マニュアル～過労死予防の総合対策～		(財)産業医学振興財団
04-211	[新版] モデル健康診断業務管理マニュアル		(社)全国労働衛生団体連合会
04-212	睡眠障害の対応と治療ガイドライン		じほう
04-213	患者にやさしい薬剤師になろう 生活習慣病～セルフケアを支えるために～	調剤と情報 9月臨時増刊号（第7巻 第10号）	じほう
04-214	健康教育・ヘルスプロモーションの評価		篠原出版新社
04-215	単身赴任でがんばるあなたの食生活	勤労者の健康を守るガイドブック	労働福祉事業団 栄養士協議会
04-216	糖尿病診療マニュアル		日本医師会
04-217	生活健康科学		三井出版株式会社
04-218	精神障害の臨床		日本医師会
04-219	心臓病の外来診療	生涯教育シリーズ65	日本医師会

05 作業環境

登録番号	書名	発行所
05-037	わかる化学物質管理の方法	職場改善シリーズ1 (財)労働科学研究所出版部

06 作業管理

登録番号	書名	発行所
06-050	VDT作業を楽しく ～厚生労働省ガイドラインに基づくVDT作業 従事者用テキスト～	中央労働災害防止協会
06-051	送検事例と労働災害（平成15年版）	労働調査会
06-052	経営者のための安全衛生のてびき	中央労働災害防止協会
06-053	災害予防の新手法 これからはじめる職場のリスクアセスメント	労働調査会
06-054	事故は、なぜ繰り返されるのか？ ～ヒューマンファクターの分析～	中央労働災害防止協会
06-055	安全衛生責任者の実務必携	中央労働災害防止協会

06-056	中小企業のための職場のリスクアセスメント ～新しい安全衛生管理の導入に向けて～		中央労働災害防止協会
06-057	新入者のための安全衛生（中国語版）		中央労働災害防止協会
06-058	経営者の労働災害防止責任 安全配慮義務Q & A		中央労働災害防止協会
06-059	すぐできる安全衛生マネジメントシステム	安全と健康実践ガイド1	(財)労働科学研究所出版部
06-060	外国人労働者の労務・安全衛生管理		中央労働災害防止協会
06-061	職場改善のための安全衛生実践マニュアル		(財)労働科学研究所
06-062	厚生労働省指針に対応した労働安全衛生マネジメントシステム システム担当者の実務	システム担当者研修用テキスト	中央労働災害防止協会
06-063	厚生労働省指針に対応した労働安全衛生マネジメントシステム リスクアセスメント担当者の実務	リスクアセスメント担当者研修用テキスト	中央労働災害防止協会
06-064	厚生労働省指針に対応した労働安全衛生マネジメントシステム システム監査担当者の実務	システム監査担当者研修用テキスト	中央労働災害防止協会
06-065	労働衛生機関安全衛生マニュアル ～労働災害防止のためのガイドライン～		(社)全国労働衛生団体連合会
06-066	建設業新規入場者教育用マニュアル	現場管理者・職長・教育担当者 必携	労働基準調査会

07 産業心理学

登録番号	書名		発行所
07-088	ストレスマネジメントと職場カウンセリング ～主要な方法論とアプローチ～		川島書店
07-089	ストレススケールガイドブック		実務教育出版
07-090	職場における自殺の予防と対応		中央労働災害防止協会
07-091	心の病 治療と予防の現在		労働調査会
07-092	精神障害のある人が働き続けるために －理解と支援の充実をめざして－		(社)日本てんかん協会
07-093	精神障害のある人が働き続けるために －理解と支援の充実をめざして－		(社)日本てんかん協会
07-094	心の病 治療と予防の現在		労働調査会
07-095	実践 心の健康づくり	職場のメンタルヘルス対策事例集 明日の風はこ こちいい	中央労働災害防止協会

ビデオリスト

【20】 安 全

登録番号	タイトル	時間	発行所	内 容
20-54	ハウ・レン・ソウの基本	15分	日本経済新聞社	会社でスムーズに仕事を進める上での基本は、ハウ・レン・ソウ——すなわち報告・連絡・相談です。ハウ・レン・ソウの持つ意味と、上手にハウ・レン・ソウするポイントを仕事の進め方の観点から解説します。 ■ハウ・レン・ソウって何？ 報告・連絡・相談とは／業務の流れとハウ・レン・ソウ／ハウ・レン・ソウはなぜ重要？ ■上司へのハウ・レン・ソウ ハウ・レン・ソウをするタイミング／ハウ・レン・ソウのコツ ■社外・他部署へのハウ・レン・ソウ 正確に、ムダなく簡潔に／相手の立場や状況を考える／直接の担当者に確実に行う
20-55	建設安全ビデオシリーズ 効果の上がるパトロールのしかた これぞ究極の安全パトロール —危険有害要因を活かして—	16分	建設安全研究会	今よりも一層効果の上がる新しいやり方とは、危険有害要因（予想される災害）を洗い出し、その防止対策を立てた作業手順書を、そして作業状況をイラストにして危険箇所のチェックポイントを部下に指示をし、パトロール時対策が守られているか確認又は改善していく事を繰り返し行って災害を未然に防いでいくという方法です。
20-56	安全帯をきちんと使いたくなるビデオ ありがとう安全帯 正しい使い方、危険な使い方	15分	労働調査会開発局	安全帯は万能ではないのです。使い方、掛け方ひとつであなたの命が左右されるのです。安全帯はあなたをまもる最後のとりでなのです。安全帯の正しい掛け方、点検、装着のポイントなど、これまで知らなかった誤った使い方の危険性を網羅し、注意点や正しい使い方、上手な使い方など

【21】 全 般

登録番号	タイトル	時間	発行所	内 容
21-76	建設安全ビデオシリーズ 労災かくし破滅への道 ～ある送検事例を追う～	19分	労働調査会	送検された事例を基にドラマ化し、労災かくしの状況を再現。何が原因で誰が実行したのか？しかし被災者からの訴えで発覚！監督署での厳しい事情聴取が始まり結果、書類送検される。後日裁判所より下された処罰と元請からの処分内容は…。なぜ労災かくしを起こすのか、その動機を紹介。労災かくしの方法は、もみ消し型（報告せず）と偽り型（虚偽報告）の2つに分類。労災かくしの防止対策。協力会社として元請としての対策方法。労働者死傷病報告と療養・休業・障害の各補償給付請求書についての解説。
21-77	PHPビデオセミナー わかりやすいTOC実践教室 ①TOCの考え方と進め方		PHP研究所	

21-78	PHPビデオセミナー わかりやすいTOC実践教室 ②成功事例に学ぶTOC		PHP 研 究所	
21-79	違法人 ー重大な災害の後にくるものー	28分	労働調 査会開 発局	死亡事故発生。元請、現場監督への労働基準監督署からの厳しい被疑者事情聴取。協力施工会社・事業主への厳しい被疑者事情聴取。災害発生時に作業をしていた左官屋（参考人聴取）により明らかになる現場の安全管理の不備。両被疑者の地方検察庁への書類送検。有罪確定。同じく両罰規定により法人の書類送検。有罪確定。死亡災害による建築主からの深刻なクレーム。被災者家族からの損害賠償額をめぐる民事訴訟。こうした最悪の事態に陥らないための対策。5つのポイント。
21-80	個人情報保護法早わかり ①個人情報保護・管理の基礎知識	20分	日本経 済新聞 社	このビデオは、個人情報を取り扱うあらゆる民間事業者の全職員を対象に、会社を潰さないためにも、知らないでは済まされない個人情報保護法のポイントを解説します。●業種や職種を超えた顧客リスト、社員の人事情報などの個人情報を取り扱うビジネス人の必須知識が約40分で理解できます。 ● 第1巻は個人情報保護法の基本的な考え方と全体構造を、第2巻は日常業務に直結する用語や概念を、ケースドラマや監修者の対談を交えてわかりやすくまとめてあります。第1巻 個人情報保護・管理の基礎知識 ■個人情報保護法登場 ■なぜ、個人情報保護法ができたのか？ ■個人情報とは何か？ ■個人情報取扱事業者の概念 ■個人情報保護法の実施体制 ■企業活動にどのように関わってくるのか？ ■行政はどのように関与するのか？
21-81	個人情報保護法早わかり ②個人情報保護法とは何か	20分	日本経 済新聞 社	このビデオは、個人情報を取り扱うあらゆる民間事業者の全職員を対象に、会社を潰さないためにも、知らないでは済まされない個人情報保護法のポイントを解説します。●業種や職種を超えた顧客リスト、社員の人事情報などの個人情報を取り扱うビジネス人の必須知識が約40分で理解できます。 ● 第1巻は個人情報保護法の基本的な考え方と全体構造を、第2巻は日常業務に直結する用語や概念を、ケースドラマや監修者の対談を交えてわかりやすくまとめてあります。第2巻 個人情報保護法とは何か ■個人情報の概念 ■個人情報に関する取り扱いのルール ■個人データに関する取り扱いのルール ■保有個人データに関する取り扱いのルール ■本人救済のシステム

21-82	会社の組織と役割の基本	15分	日本経済新聞社	業種によって名前の違いはあっても、会社には目的に応じたさまざまな組織とそれぞれの役割があります。どのような組織が会社にあるのか、またどう連携して業務を進めているのか解説します。 ■会社の仕組み 会社の目的／社員の目的／会社の組織構成／… ■各部門の相互関係(1) (ライン部門から見た場合) 業務の流れと位置づけ／ミニドラマで学ぶ営業部から見た部門間の連携 ■各部門の相互関係(2) (スタッフ部門から見た場合) 業務の流れと位置づけ／ミニドラマで学ぶ営業部から見た部門間の連携
21-83	税金・社会保険の基本	15分	日本経済新聞社	給与明細を見て「引かれている」程度の意識では困ります。何をどんな仕組みで支払い、社会保険の保障内容は何かなど、社会人が最低限知っておくべき基本を解説。会社が社員以上に保険料を負担していることも教えます。 ■税金と社会保険を知っていますか どんな税金・社会保険料を支払っているか／会社も社員以上に負担している ■税金の基本 所得税の仕組み／源泉徴収と年末調整／住民税の仕組み ■社会保険の基本 健康保険／厚生年金／労災保険と雇用保険／自分で請求しないと受給できないことも
21-84	タイムマネジメントの基本	15分	日本経済新聞社	言葉では知っていても、いざ実践となると「どう進めていいかわからない」のがタイムマネジメントです。ビジネス人として知っておきたい時間管理の「コツ」を解説します。 ■なぜ、タイムマネジメントが必要なのか 会社で発生するさまざまな仕事／仕事の性格に合わせて重要度や優先度を判断する／仕事をいろいろな視点で捉える ■仕事のプライオリティを判断する 仕事のプライオリティとは／優先順位と重要性／予定通りに仕事が進まない時は／時には断ることも ■時間の効率的な利用 締め切りを確認し逆算する／時間を整理・整頓する／大きな仕事の合間に小さな仕事を入れる
21-85	書類整理の基本	15分	日本経済新聞社	ちらかった机は、美観だけでなく業務効率も損ないます。効率的な仕事は、まずは机周りの整理から。増え続ける書類の整理法、職場の共有書類や電子データの取り扱い方法を解説します。 ■書類整理はなぜ大切か さがし物は仕事の効率を下げる／会社の机は個人のスペースではない ■個人デスクの整理 日常使うものはデスクの上に／パソコンの電子データの整理 ■共有書類の整理 ルール違反は周囲の迷惑／職場のルールと担当者の指示に従う／共有の電子データの取り扱い

21-86	名刺の基本	15分	日本経済新聞社	ちらかった机は、美観だけでなく業務効率も損ないます。効率的な仕事は、まずは机周りの整理から。増え続ける書類の整理法、職場の共有書類や電子データの取り扱い方法を解説します。 ■書類整理はなぜ大切か さがし物は仕事の効率を下げる／会社の机は個人のスペースではない ■個人デスクの整理 日常使うものはデスクの上に／パソコンの電子データの整理 ■共有書類の整理 ルール違反は周囲の迷惑／職場のルールと担当者の指示に従う／共有の電子データの取り扱い
-------	-------	-----	---------	--

【24】健康管理

登録番号	タイトル	時間	発行所	内容
24-80	タバコ百害禁煙サポート	15分	労働調査会開発局	ータバコ百害ー ○ 本人の健康に与える害 ○ 周囲の人に及ぼす害 ○ 喫煙マナーとは ー禁煙サポートー ○ 禁煙シミュレーション 本当につらいのは初めの3日間 1週間後、1ヶ月後、3ヶ月後、半年後、1年後 ○ 禁煙パッチを使う方法 ○ 禁煙成功者へのインタビュー
24-81	分煙対策の効果的な進め方 ～喫煙室づくり3つのポイント～	23分	労働調査会開発局	受動喫煙を防ぐための「空間分煙」が推奨され、喫煙対策として多くの事業場で空間分煙を行うことが普及してきました。 しかしながら、実際には空間分煙が正しく行われていない状況の中、平成15年5月、「健康増進法」が施行され、また、厚生労働省から新たな「職場における喫煙対策のためのガイドライン」が示されました。新ガイドラインで変更された主なポイントは、次の3つです。1 非喫煙場所に、タバコの煙が漏れない喫煙室を設置すること。2 タバコの煙が拡散する前に、吸引して屋外に排出する方式をとること。3 喫煙室と非喫煙室との境界において、喫煙室に向かう風速を0.2m/秒以上とすること。
24-82	健康管理シリーズ 日常生活の心得 「健康増進法」って、なあに？ ー受動喫煙の防止と栄養表示基準ー	22分	労働調査会開発局	○ 「健康増進法」（平成15年5月1日施行）とは？ ○ 「健康増進法」の3本柱 ○ 「健康日本21」と「健康増進法」 ○ 「健康増進法」と受動喫煙の防止 ○ 「健康増進法」と栄養表示の基準 ○ 私たちの暮らしと「健康増進法」

24-83	健康管理の基本	15分	日本経済新聞社	仕事と健康には密接な関係があります。健康管理ができないビジネス人は、往々にして仕事もできないものです。「できる」ビジネス人に欠かせない健康の常識を解説します。 ■なぜ、健康が大切なのか 会社の業務と自分の健康との関係／体調管理・健康管理も仕事のうち ■オンタイムの健康管理 ドライアイ対策／冷房対策／ストレッチ／水分補給／うがいと手洗い ■オフタイムの健康管理 運動／食生活／規則正しい生活リズム／リラックスタイム／健康のバロメーターを読みとる
-------	---------	-----	---------	---

【27】 産業心理学

登録番号	タイトル	時間	発行所	内容
27-42	日経メディカルビデオ (VOL. 52) 30分でわかる 軽症うつ病の診かた	30分	日経BP社	内科開業医が「軽症うつ病」患者を診るために、その診断のポイントと治療のポイントを30分で解説！ 本ビデオ監修者の久保木富房東京大学医学部心療内科教授を中心とする研究グループが提唱する3項目の質問による軽症うつ病のスクリーニング用診断基準を紹介するほか、代表的なうつ病治療薬SSRI、SNRIの正しい投与法を解説します。
27-43	リスクマネジメントとしてのメンタルヘルスシリーズ（第I集） ～メンタルヘルスふぜんによる労働損失と安全配慮義務～ ①メンタルヘルス不全の事例と労働損失	20分	労働調査会	典型的なメンタルヘルス不全の事例を取り上げながら、会社にとっての経済的損失、職場にとっての情緒的な損失、本人にとってのキャリア損失といった様々な角度からその損失を分析していきます。 ●4人のケースをもとにメンタルヘルス不全の事例と労働損失を解説。 ●リスクマネジメントとしてのメンタルヘルス解説。
27-44	リスクマネジメントとしてのメンタルヘルスシリーズ（第I集） ～メンタルヘルスふぜんによる労働損失と安全配慮義務～ ②SOSサインの発見と安全配慮義務	20分	労働調査会	もしもの場合に、知らなかったでは済まされない安全配慮義務の対策集。放っておけばメンタルヘルス不全につながるSOSサイン（事件性…いつもと違う行動）の数々を具体的に見ながら、「声がけ」、「言葉がけ」へのプロセスを解説します。 ●SOSサインの解説および対策 ●安全配慮義務の解説
27-45	リスクマネジメントとしてのメンタルヘルスシリーズ（第II集） ～休職、そして復職へ～ ①休職への過程と休職中の対応	20分	労働調査会	ある職場を想定したドラマを通して、管理者として知っておかなければならない、休職者へのフォローの仕方（ケアスキル）を解説。また、精神疾患を抱えながら出社し続けている社員に、休職するかどうかを自己決定させるためのサポートも紹介。 ●休職までのながれ（上司の発見・産業保健スタッフのかかわり・受診・職場、上司、本人、家族、カウンセラーでの話し合い・休職のタイミングの選択） ●休職中のフォロー（職場からの連絡について：連絡の担当者の決定、メールによる情報提供、原則的には本人と連絡をとらない等・主治医との連絡・診断書の扱い）

27-46	リスクマネジメントとしてのメンタルヘルスシリーズ（第Ⅱ集） ～休職、そして復職へ～ ②復職への道	20分	労働調査会	復職者を迎える準備から復職後のフォロー（リハビリスキル）までの過程を実例に基づいてリアルにドラマで再現。復職者が再び休職しなくてすむためのサポート体制（キャリアスキル）にも触れる。 ●復職のための診断書（本人の自己申告をそのまま鵜呑みにしない） ●復職のタイミング（復職できる条件の確認・カウンセラー等と本人との相談） ●復職する際の職場と仕事の選び方（職場、人事、カウンセラーによる話し合い） ●受け入れ態勢の準備（職場での話し合い・本人を含めての職場での話し合い）
27-47	職場を守るメンタルヘルスマネジメント ～初期対応から職場復帰までのポイント～	18分	労働調査会	本ビデオでは、職場内に「メンタルヘルス不全者」が出てしまった場合の、管理者がとるべき姿勢や対応のポイントを解説しています。管理者自身の誤った判断による対応ほど危険なことはありません。管理者の役割を再確認するとともに、「メンタルヘルス不全者」の発見から職場復帰までのポイントを分かりやすく解説していきます。 ●メンタルヘルスマネジメントの基本（セルフケアとラインによるケア） ●早期発見（いつもと違う部下に早く気づくためのポイント） ●初期対応（声かけ・傾聴） ●産業医と管理職の役割、連携（病気かどうかの判断） ●職場復帰（復職判定・管理者8つの心得）
27-48	会社の人間関係の基本	15分	日本経済新聞社	IT時代とは言っても、会社勤めの基本は人間関係から始まるもの。学生時代とは違う会社ならではの人間関係を解説します。 ■仕事はまず人間関係から始まる 会社における人間関係とは／自分のことを周囲の人たちに理解してもらおう／人の話をよく聞こう／自分から挨拶しよう／… ■職場にいるあんな人、こんな人 すぐにアフターファイブに誘う人／事細かに行動をチェックする人／人によって態度を変える人 ■いたるところにある落とし穴 相手の落ち度を責めるように指摘したらムードが悪くなった／打ち合わせ中に公私混同の話題を出したら怒られた／…
27-49	新職場のメンタルヘルス 1 自殺予防編 心の危険信号 見落としていませんか？ －事業社責任と心の健康－	20分	労働調査会開発局	発見が遅れると「自殺」にまで及んでしまうことがある‘うつ病’。それに気付くことの重要性とは？職場環境のあり方とは？職場での例や、民事訴訟の事例を織り交ぜ解りやすく説明します。●自殺とうつ病●メンタルヘルスカに対する事業者責任●気付きの重要性とそのポイント●会話例とそのポイント
27-50	新職場のメンタルヘルス 2 職場復帰編 スムーズな職場復帰のために －職場復帰のノウハウと注意点－	17分	労働調査会開発局	あなたの課に休職してた部下が復帰（配属）することになりました。さて、どのような対応・配慮が必要なのでしょう。そのポイントを解りやすく整理し解説します。●職場復帰への取り組みの意義●職場復帰のポイント●会話例とそのポイント

27-51	新職場のメンタルヘルス 3 過重労働対策編 過重労働とメンタルヘルス	18分	労働調査会 開発局	メンタルヘルスに、大きな影響を与える過重労働を防ぐために、労働安全衛生法が改正されます。管理監督者は、どのような部下管理をこころがけるべきなのでしょう？●プロローグ●過重労働労働とメンタルヘルス（さまざまなデータから）●法律の変遷、そして新たな取り組み●過重労働対策の取り組み 山田長伸弁護士インタビュー●事例解説（部下の労働管理編）●事例解説（管理職のセルフケア編）●エピローグ
27-52	メンタルケアの聞く技術 ①「聞く」技術の基礎を学ぶ ケース1 ケース2	25分	日本経済新聞社	職場ストレスの原因のトップは何と言っても「人間関係」。こうした状態を改善するためには、管理・監督者をはじめ多くの人々が「聞く」技術を身につけることが重要になっています。そんな聞く技術を身につけるための研修ビデオです。ビデオを見るだけではなく体験学習できるようにロールプレイ用シナリオをつけました。（弊社監修のビデオです） ＜ケース1＞やる気のある女性部下、＜ケース2＞年上の部下
27-53	メンタルケアの聞く技術 ②アクティブ・リスニングを学ぶ	25分	日本経済新聞社	職場ストレスの原因のトップは何と言っても「人間関係」。こうした状態を改善するためには、管理・監督者をはじめ多くの人々が「聞く」技術を身につけることが重要になっています。そんな聞く技術を身につけるための研修ビデオです。ビデオを見るだけではなく体験学習できるようにロールプレイ用シナリオをつけました。（弊社監修のビデオです） ＜ケース3＞うつ的な部下、＜ケース4＞合併後の人間関係
27-54	みんなで取り組むメンタルヘルスケア あなたの家族、大丈夫？ ー大切な周囲の気づきー	20分	55	この教材ではうつ病に罹るとどんな症状がでるのか、どんなきっかけがあると罹りやすいかなどを、事例で解説します。併せて、うつ病に似た「治療困難例」についても紹介します。 ①うつ病とは・Aうつ病とは Bどんな事がきっかけとなるのかー職場の問題、家庭の問題、性格、素因 ②うつ病発症に気付くには・A周囲が気付く事の大切さー家族、同僚、上司などーB気付くためのポイントー外見、行動、体調などー 【事例】A若年層の場合（うつ病）ー業務の集中、過重労働ーB女性の場合（うつ病）ー職場と家族の両立、介護負担ーC単身赴任者の場合（アルコール依存症）ー生活環境への不応、飲酒の習慣化ー
27-55	みんなで取り組むメンタルヘルスケア 復帰へのステップ ー職場の支えー	20分	労働調査会 開発局	この教材では、この「手引き」に沿って、それぞれの立場の人がどんな役割を受け持ち、スムーズな職場復帰を再発・再燃の防止に努めるかを、管理監督者の目線で紹介します。 ①休業から職場復帰までのプロセス 各ステップでの対応ーどの段階で何をしなくてはならないかー ②職場内の役割分担 管理監督者の役割 産業保健スタッフの役割 ③職場復帰判断のためにー必要な情報収集ー本人の健康状態 職場の受入体制 ④職場復帰支援プランとは 職場復帰支援プランのたて方

機器リスト

●研修用機器

整備番号	機 器 名 称	型 番	メーカー
31-01	レーザーポインター	UL-1	ウチダ
31-02	ワイヤレスアンプ	WA-1702	TOA
31-03	移動架台型シャウカステン	LTU-42D	森山X線
31-04	プロジェクター	XP3250JX	富士ゼロックス
31-05	スクリーン	100インチ	富士ゼロックス
31-06	スクリーン	100インチ	内田洋行
31-07	OAボード	F1 1800	内田洋行
31-08	スライドプロジェクター		
31-09	プロジェクター (小)		
31-10	フードモデル 100種食材		いわさきグループ

●作業環境測定機器

【粉じん用】

整備番号	機 器 名 称	型 番	メーカー
32-01	デジタル粉じん計 (レーザー式)	LD-3K	柴田化学
32-02	デジタル粉じん計	P-5H型	柴田化学

【サンプリング用】

整備番号	機 器 名 称	型 番	メーカー
32-03	アスベストサンプラー	APS-6	柴田化学
32-04	携帯用ローボリウム・エアサンプラー	SL-15P型	柴田化学
32-05	労研TR個人サンプラー	PS-43型	柴田化学
32-06	ハイボリウムエアサンプラー	HV-500F	柴田化学
32-42	カスケードインパクター ポンプ付き	AN-4S	東京ダイレック
32-44	自動ガス採取装置	GPS-300FT	ガステック

【有害ガス・酸欠用】

整備番号	機 器 名 称	型 番	メーカー
32-07	北川式ガス採取器 真空法	AP-20	光明理化学工業
32-08	コンビネーションガス警報器 (防爆型)	GX-2001	理研計器
32-09	酸素濃度計	GOA-2H	ガステック
32-10	硫化水素検知警報機	HS-2B	ガステック
32-11	防塵マスク	1021-04	興研
32-12	防塵マスク シゲマツ	DR-175K-7	シゲマツ
32-13	隔離式防毒マスク サカヰ式	HV-111型	興研

32-14	CO・CO ₂ 濃度測定器	COX-2 (8060-02)	柴田化学
32-15	酸素測定器 (携帯型O ₂ /DO計)	ODT-100M	柴田化学
32-16	マスクフィティングテスター	MT-03	柴田化学
32-17	サーマルプリンタ (マスクフィティングテスター用プリンタ)	DPU-414	柴田化学
00-02	使い捨て防じんマスク		

【騒音測定用】

整備番号	機 器 名 称	型 番	メーカー
32-18	積分型普通騒音計	NL-20	リオン
32-19	普通騒音計 (分析器付き)	NA-27A	リオン
32-20	レベルレコーダ	LR-06F (検査付)	リオン
32-21	耳栓遮音効果測定装置 (耳栓チェッカー)	AG-20A	リオン
32-22	ヘルターイヤーマフ	H6F	興研
32-23	騒音周波数分析計 (1/3オクターブバンド実時間分析器)	SA-29	リオン

【気流・温熱条件測定用】

整備番号	機 器 名 称	型 番	メーカー
32-24	乾湿球グローブ温度指示計 WBGT	8033-04	柴田化学
32-25	微風速計	ISA-811型	柴田化学
32-26	クリモマスター風速計	MODEL 6531	日本カノマックス
32-27	アネモマスター (熱線風速計)	MODEL 6621PA	日本カノマックス
32-28	アスマン通風乾湿計 電動式	電動式セット 8031-06	柴田化学
32-29	アウグスト乾湿計 架台付		柴田化学
32-30	グローブサーモメーター	ベルノン式	柴田化学
32-31	スモークテスター		柴田化学
32-32	石鹼膜流量計	BF-05型	柴田化学
00-01	電動アスマン通風乾湿計セット	8031-04	柴田化学
32-43	熱中症指標計	WBGT-113	京都電子工業

【照度・電磁波測定用】

整備番号	機 器 名 称	型 番	メーカー
32-33	照度計	ANA-F11	東京光電
32-34	輝度計	LS-110	ミノルタ
32-35	有害紫外放射測定器	UV-3型	柴田化学
32-36	電離箱式サーベイメーター (放射線量率計)	ICS-321	アロカ
32-37	トリフィールドメーター (電場・磁場測定器)		W. B. Lee
32-38	電磁波チェッカー (4080型ガウスメーター)	4080型	F. W. BELL
32-39	電磁波チェッカー	EMF-822	カスタム

32-40	電磁波チェッカー	8050	カスタム
32-41	通電計 (デジタルマルチメーター)	732/02	日置

●その他の機器

【健康測定用】

整備番号	機 器 名 称	型 番	メーカー
30-01	全自動血圧計	BP-203RV II	COLIN
30-02	ニミライト・ピークフロメーター 呼吸流量計	4B輸第257号	英国クレメント・クラーク社

